



星野・大坂ニュース

第 2 号

2025 年 7 月 7 日

◇編集・発行／無実の政治犯 星野さん大坂さん全国救援会（準）

◇頒価 200 円 ◇毎月 1 回 第 1 月曜日発行 ◇会費 年間 3000 円

◇連絡先 星野さんをとり戻そう！全国再審連絡会議／大坂正明さん救援会

◇口座振替 00110-5-155521（星野）00140-7-635858（大坂）

〒105-0004 東京都港区新橋 2-8-16 石田ビル 4 階 ◇TEL 03-3591-8224 FAX 03-3591-8226 ◇Email : hoshinoosaka@gmail.ne.jp



アメリカのイラン核施設爆撃弾劾 無実の大坂さん絶対奪還

救援会は 6 月 19 日、霞が関デモ、裁判所前街宣、署名提出行動と連続行動を闘い、東京高裁に大坂正明さんの解放を強く迫りました。

この日は星野救援会と大坂救援会の統一で運動の飛躍を誓った 5・30 集会後、初めての裁判所行動となりました。猛暑に負けず、日比谷公園には救援会の呼びかけに応え 40 人の仲間が集まり、力強く大坂さん奪還を訴えました。（写真上 2 面詳報）

6 月はアメリカによるイラン侵略戦争が核施設攻撃＝核戦争へとエスカレート。世界戦争＝中国侵略戦争情勢の加速に対し、労働者民衆の反戦の闘いが世界中で巻き起こっています。

これと一体で闘った 6 月の反戦闘争で全学連の仲間 2 人と労働者 1 人が不当逮捕されました。弾圧との闘いは反戦闘争の正面課題です。獄中の大坂さんと団結し、全力で安保・沖縄闘争を闘い社会を変えましょう。

「全ての人が人間らしく生きられる社会を」：星野文昭さんが生前常に口にしていたこの言葉は、今や星野・大坂闘争に関わる全ての人々の合言葉になった▼この間、星野さん自身をはじめ、お母様、いとこの誉夫さん、弁護団の角田義一弁護士、鈴木達夫弁護士、小林博孝弁護士、支援の大形敏也さん、柴田作治郎牧師ら星野闘争に関わる多くの人々がこの世を去った。星野闘争は、これらの人々をはじめとした多くの「人として誠実に向き合い、まず自らが人間らしく生きようとした」方々によって支えられてきたことを強く実感している▼星野国賠が歴史的と言って良い

勝利を勝ち取り、「人間らしさ」を人々から奪い取ってきた国（刑務所）の姿を白日の下に明らかにすることができたのは、まさしくこれらの「人間らしく生きようとして」人々の思いと力によるものだった。そして、星野さんや大坂さんが闘った沖縄返還協定批准阻止闘争がいかに正しいものであったか、今の沖縄の現実が全てを物語っている▼米軍基地という沖縄の犠牲の上でしか成り立つことのない日本（ヤマト）の姿を根底から変えていくことが「全ての人が人間らしく生きられる社会」のための第一歩であり、星野・大坂闘争の原点であると、今、改めて思う。



星野国賠弁護団

和久田修

今月の紙面

東京高裁包囲デモ・署名提出行動
トランプ・石破打倒の安保・沖縄闘争
大坂裁判控訴審のポイント 1
星野国賠控訴審の現段階
杉並 絵と詩展・星野大坂集会の報告
各地の星野絵画展 高槻／東京東部／加須

… 2
… 3
… 4
… 5
… 6
… 7

霞が関デモ・申し入れ行動

東京高裁に大坂即時解放を迫る

6月19日、霞が関に絶対反戦・無実の大坂正明さん即時解放の訴えが響き渡りました。

昼休みの東京高裁包囲デモには40人が参加。狩野満男共同代表から「アメリカのイラン侵略戦争が中国侵略戦争情勢をさらに加速させている。全世界を揺るがす核戦争と対決し、安保・

沖縄闘争を闘おう。大坂さんを奪還しよう」とこの日の行動の提起が行われました。全学連の学生は6・14反戦デモで不当逮捕された仲間の奪還闘争の渦中で、この日も朝から街宣を闘い



霞が関に大坂解放の声響く（6月19日）

ぬいた上で救援会の裁判所行動に合流。「こんな弾圧に負けな

い！ 星野さん、大坂さんのように闘う」と決意鮮明に、生き

生きとデモをリードしました。天皇の広島訪問（＝戦争責任

居直りと反戦闘争弾圧）、アメリカによるイラン侵略戦争のエス

カレートと、中国侵略戦争に向けて内外情勢が激しさを増す中、

救援会はデモと街宣で「中国侵略戦争阻止」「渋谷暴動闘争は正義」「無実の大坂さんを解放し

ろ」「逮捕した学生を直ちに釈放しろ」「トランプ・石破打倒、天皇制打倒」の声を霞が関にとど

ろかせました。

不誠実な裁判所に怒り爆発

午後2時からの申し入れ行動に対し、裁判所は今回も20人までと人数制限をかけてきました。申し入れ書を読み上げた後、星野暁子共同代表が「前回提出した署名はどうになりましたか？ 今日

川岳央・東京高裁判事訟廷管理官は、裁判所を代表して署名を受け取っているという認識を一切示さず、係属部への書類受け渡しを拒否！「私がお預かりす

るとしか言えない」「（預かった署名は）処理する」と繰り返し

ました。労働者民衆の闘いにお

びえ、弾圧の先兵としての姿勢をあらわにした裁判所に参加者

の怒りが爆発！ 無実の大坂さんを即時解放しろ、事実調べを

行い無罪判決を出せ、大坂さんの命と健康を守れ、裁判所にで

きる唯一の選択は「今すぐ保釈」だ、と激しく追及しました。

高裁に事実調べ迫る 1万署名集めよう

この日の提出署名は1042筆、5月8日提出分と合わせて4216筆となりました。「拙速裁判・即日結審など許さない」「事実調べを行え」との労働者民衆の声をガンガン突きつけ、裁判所を揺るがそう。星野国賠の画期的勝利を切り開いた労働者民衆の反戦の力を集め、大坂さんの無罪奪還へ今より一回り大きな闘いを実現しよう。5千と言わず、1万の署名を全国で集め、東京高裁へ攻め上ろう。

劣悪な刑務所医療を医師が内部告発

大坂さんの命と健康を守ろう

大坂正明さんを絶対に取り戻す闘いと同時に、獄中の大坂さ

んの命と健康を守り抜く闘いを強めよう。大坂さん解放署名を

全力で集め、裁判所に「即時釈放と無罪判決」を迫ろう。

大坂さんが東京拘置所に移監されてから丸8年、今年9月で

76歳になる大坂さんの健康維持は待ったなしの課題です。

6月17日の東京新聞に、金沢刑務所や東京拘置所で刑務所医

療の改善を訴えて左遷された医師の告発記事が掲載されました（写真）。東京高裁は救援会の申し入れに「拘置所のこととは管轄外」と無責任に開き直りましたが、劣悪な医療を承知で勾留を続けているのは裁判所です。大川原化工機事件で相嶋静夫さんの命を奪った責任を自覚しろ！ 裁判所は大坂さんを今すぐ解放しろ！ 全国で大坂解放署名の取り組みを強めよう。



星野・大坂全国総会

8月24日（日）午後1時開会
ティアラこうとう 中会議室（東京都江東区住吉2-28-136）

都営地下鉄新宿線・東京メトロ半蔵門線「住吉」駅徒歩4分

トランプ・石破を打倒し戦争止めよう

6・14全国反戦集会 米大使館・首相官邸へ迫る実力デモ闘う

米トランプによる軍隊を使つた移民排斥や軍事パレード、イスラエルによるガザ大虐殺そしてイランへの侵略戦争。世界戦争情勢が激しさを増す中、全米500万人の反戦・反トランプデモをはじめ世界中で労働者民衆の実力決起が始まっています。これに連帯し、中国侵略戦争に猛然と突き進む石破・トランプを打倒しようと6月14日、改憲・戦争阻止！大行進が呼びかける全国反戦集会が東京・芝公園で開かれ、全国から1000人が結集しました。天皇を使つ



6・14 首都反戦デモ（東京・港区）

て沖縄・広島の怒りを平定し戦争へ突き進む日帝を打倒しよう、怒りと決意あふれる実力闘争が勝ち取られました。全学連と青年労働者約150人がスクラムデモでアメリカ大使館へ進撃。恐怖した権力が機動隊の暴力で襲い掛かり2人を逮捕（一人は即日奪還）、許せない！怒りを倍加させ中国侵略戦争阻止、トランプ・石破打倒の実力デモを貫徹しました。

機動隊襲撃・不当逮捕弾劾！ 勾留理由開示公判闘う

6・14デモで不当逮捕された全学連女子学生の勾留が続く中、6月26日、勾留理由開示公判が開かれました。50人が東京地裁に結集し、元氣に出廷した女子学生と感動的な合流を果たしました。弁護人は機動隊の暴力を弾劾し、勾留決定している裁判官の暴力性も弾劾しました。傍聴席も一体で闘い、恐怖した裁判官は20人全員退廷の暴挙に！不起訴奪還へ闘うぞ！

戦後80年、天皇による沖縄・広島訪問弾劾！ 国家権力の弾圧打ち破り実力抗議行動爆発

天皇の沖縄訪問、広島訪問は、再び労働者人民を戦争に駆り立てようとするもので、絶対に許すことはできません。天皇こそがアジア人民2千万人を虐殺した日帝の侵略戦争の最大の責任者であり戦犯であり、差別・排外主義の元凶です。天皇が戦争継続を決めたことで凄惨な沖縄戦とヒロシマ・ナガサキがもたらされたことを想起すれば、そのような天皇が沖縄、広島に行くことなど許されるはずがありません。



天皇来沖弾劾闘争（6月5日 那覇市）

改憲・戦争阻止！大行進沖縄は6月4、5日、星野文昭さんや大坂正明さんが闘った70年安

保・沖縄闘争のように「沖縄の怒り」を体现する闘いとして天皇来沖弾劾闘争に決起しました。5日午前、天皇の対馬丸記念館訪問を徹底弾劾する大行進の仲間、警察権力は声を一つも上げさせまいとトラメガのマイクを引きちぎり、押し倒すなど



「天皇は広島から出ていけ！」（6月19日 広島）

の暴力的弾圧を加え、全学連の学生を不当逮捕（6月16日起訴）しました。絶対に許せません。早期奪還へ闘おう。

6月19日、8・6ヒロシマ大行動実行委員会が呼びかけ、天皇広島訪問弾劾闘争が1000人の結集で闘われました。

天皇制の権威を守るために大量に動員された機動隊は、「天皇は広島から出ていけ」「中国侵略戦争阻止」と熱く訴え進撃する全学連を先頭としたデモに恐れをなし、解散点である平和記念公園の元安橋交差点を封鎖、デモ隊は一步も引かずスクラムを組み、弾劾の声を公園中に響き渡らせて闘いぬきました。その声は平和公園に訪れた天皇を直撃、戦争に向けた「挙国一致」体制構築の狙いを打ち砕きました。

今夏反戦・反核闘争たたかう

7・19 反戦集会 in 新宿

7月19日（土）午後1時、新宿駅東口広場／2時半、新宿駅一周デモ

8・6ヒロシマ大行動

8月5日（火）午後6時半、平和公園集会禁止・反戦デモ弾圧許すな！前夜総決起集会（広島市東区民文化センターホール）

8月6日（水）午前6時半 原爆ドーム前集会／8時15分黙とう後翼賛式典弾劾デモ／午後0時半、8・6ヒロシマ大集会（広島県立総合体育館小アリーナ）／3時、ヒロシマ大行進（市内デモ）

大坂控訴審のポイント解説①

目撃供述のねつ造を明らかにする
鑑定書・警察官調書の事実調べを

大坂正明さんを「犯人」であるとする物的証拠は何一つありません。裁判は、大坂さんが死亡した警察官を殴打しているのを「見た」という群馬の少年らの調書が「真実の記憶に基づくものか否か」を争ってきました。

「供述調書は検事の作文」(IT証人)、「大坂さんは知らない人。この法廷が初対面」(AO証人)と、供述調書の内容が事実でないことは一審で明らかでした。

しかし判決は、少年らへの拷問的取り調べ(暴力と脅迫を伴う長時間の違法な取り調べ)を容認し、「供述は記憶に基づき任意になされたもの」と強弁し、大坂さん有罪の「証拠」としてすべての内容を肯定しました。

争点はAO証人

控訴審闘争は、一審のデータメな政治判決を根底的に粉碎する怒りの闘いです。一審の検察官立証はAR証人の証言と検察

官調書が軸でしたが、弁護団の闘いで完全に粉碎しました。本来なら無罪判決しかないにもかかわらず、判決はAOの検察官調書を事実認定の軸にすり替え、検事の破綻を取り繕いました。

したがって、控訴審で争いの軸となるのは「AOの供述調書」です。AOの法廷証言は真実であること、一審で事実認定に使われた検察官調書が「ねつ造されたもの」であることを、あらゆる角度から徹底的に暴き、闘います。

全ての警察官調書を調べる

第一のポイントは、一審で事実認定に使われた検察官調書が出来上がっていく過程を、それ以前に作られた警察官調書を通して明らかにする供述分析です。

一審判決の軸に据えられたAOは、本人が法廷で検察官調書の内容を全面的に否定したにもかかわらず、法廷証言を否定さ

れてしまいました。「なぜ記憶にないことを話したのかと聞かれるが、あの取調室の中に一度入ったことについて言うしかない」とまで法廷で述べましたが、見ず知らずの大坂さんの写真を選んだことについては「不思議だ」と言うなど、でっち上げ調書が作られていく過程について、自ら明確に説明することができません。袴田事件をはじめ数々の冤罪事件で供述調書のねつ造を暴いてきた浜田寿美男・奈良女子大学名誉教授は、これを「意図せざる誘導」だと断じ、捜査官の思い描くストーリーがAOに刷り込まれていく過程を明らかにしました。(※「意図せざる」誘導とは、明確な暴力がなくても、取り調べの恐怖から逃れたい被疑者が、取調官の描く事件の構造に沿ったストーリーを供述すること)

AOの再度の証人尋問と、浜田さんの証人採用が絶対に必要です。弁護団は現在、浜田さんの鑑定意見書とともに、その中で詳しく分析したAOらの警察官調書を証拠請求しています。

調書ねつ造の過程を暴く

一審判決は、証人らと大坂さ

んの関係を「既知の人物」であるかのように描き、大坂さんの名前を教えて写真を見せ供述を迫った取り調べを「手がかり再生」(判決によれば、写真を手掛かりに、自由に記憶を語ってもらったものだという)という言葉でごまかしました。

浜田さんは、捜査官による誘導を指摘し「この写真面割手続は不正である」と判決を弾劾したうえで、「供述者にとって未知の存在である大坂さんを、『あ、あの人だ』と思い出すきっかけが、調書の中に全く存在しない」と供述分析で明らかにしました。今年2月28日に出された検察の答弁書は、この浜田さんの鑑

定意見書にかみつき、「脳内の動きそのもので、すべて調書に録取されるわけではない」などと暴論を吐いています。「調書に何を書くかは取調官の自由」とまで言っていてでっち上げを開き直る検察の答弁書を許さず、一審判決粉碎へ闘いを強めます。

検察は証拠調べに反対し、控訴棄却を求めています。一審判決があまりにデータメな事実認定を行っているがゆえに、大坂さんが無実である新たな証拠が明らかにすることを恐れています。だからこそ、控訴審で裁判所に事実調べを行わせることは、大坂さん無罪を勝ち取るうえで最も重要な闘いです。

星野・大坂救援会 行動スケジュール

7月17日(木) 大坂さん解放! 渋谷街宣

正午、JR渋谷駅ハチ公口駅前広場集合

7月31日(木) 霞が関デモ&裁判所街宣

正午、日比谷公園霞門集合

8月28日(木) 霞が関デモ&署名提出行動

正午、日比谷公園霞門集合、2時高裁申入予定

★全国で「大坂さん解放を求める署名」を全力で集め、連続的な裁判所行動を闘おう

★救援会の力で裁判所に事実調べを行わせよう

星野国賠訴訟の現段階

徳島刑務所の検査義務違反を追及し控訴審闘争に勝利しよう

星野文昭さん獄死の真実を解明し責任を取らせるための国家賠償請求訴訟は東京地裁で勝利しました。しかし判決は、徳島刑務所の責任や、星野さんや家族に肝臓がんであることを告知しなかった責任を認めませんでした。このため原告は控訴し、被告国も控訴したため、闘いの場は東京高裁に移りました。

国の控訴理由書弾劾

被告国の代理人は、5月23日に控訴理由書を提出しました。



弁護士会館クレオで行われた国賠勝利判決報告集会は会場から人があふれた（3月24日）

全体で100ページ近い文書ですが、目新しい主張はなく、一審での主張の蒸し返しです。医師意見書も今のところ出していない。

第1のポイントは、一審判決が認めた東日本成人矯正医療センター医師の「止血措置等義務違反」と星野さんの死亡との因果関係の否定です。

手術当日の午後6時50分ころ、それまで120台を維持していた血圧が64に急降下し、尿も出なくなり、「白い馬が何頭も見える」とせん妄を疑わせる発話もありました。裁判で証言した肝臓外科の専門医は、この時血液検査と腹部エコー検査を行えば術後出血を発見するのは容易で、再開腹止血術を行う以外に星野さんの救命の方法はなかったことを明らかにしています。

ところがセンターの医師たちは簡単に実施できる検査をすることなく、漫然と対症療法を続

けるだけでした。被告国の代理人は、「アルブミン（血液製剤）の投与で血圧が上がった」と言っています。血圧が90を超えたことは一度もありません。

また星野さんには再開腹止血術を行うだけの体力が残っていません。

これもすでに、肝臓外科専門医の証言で否定されています。

第2は、徳島刑務所長の通知義務違反です。3月1日では確定診断ではないため、「社会内処遇規則」が定める「心身の状況」の変化には当たらないと主張するのです。腹部エコー検査と血液検査を合わせれば肝臓がんであることは明白です。

さらに星野さんには「適正手術」を期待する権利はなかったと言います。

原告代理人の主張

一審判決は徳島刑務所の検査義務違反を正しく評価していません。18年の夏から秋にかけて食欲不振と体重減少が続いた時、適切に検査していれば、肝臓がんはもっと小さな段階で発見され、安全な手術ができました。

転送義務違反も重大です。厚生労働省は、巨大な肝臓がんの

手術は「高度の医療」を提供できる特定機能病院で行うよう定めています。徳島県で該当するのは徳島大学病院だけです。ここに転送して、専門医による手術が行われれば星野さんは死なずにすんだのです。巨大な肝臓がん切除手術を行う設備も能力もない医療センターに転送し、手術を強行したことが死に直結したのです。

徳島刑務所が肝臓がんを星野さん本人にも家族にも告知しなかったことも重大です。

今後の裁判の進行

係属部は東京高裁第23民事部に決まりました。今後原告被告双方が、相手の主張に反論する

答弁書を提出した後、第一回裁判が行われます。現在折衝中ですが、10月頃になりそうです。いよいよ控訴審が始まります。私たちは一審で獄中医療の実態を暴き、徳島刑務所長の行為の違法まで認めさせる画期的な勝利を実現しました。権力と徹底対決して勝ち取った地平をさらに発展させましょう。

戦争情勢下で、獄中医療をめぐる国賠裁判闘争は、それ自身が国家との非和解的な闘いです。労働者民衆の国家権力への怒りを結集し、東京高裁を追い詰めましょう。44年間不屈・非転向で闘いぬいた星野文昭さんの闘いと一体になって法廷を押し包み、権力を打倒しましょう。

今秋控訴審決戦へ、裁判費用カンパのお願い

大坂裁判控訴審と星野国賠控訴審が今秋始まる見込みです。勝利に向け、両弁護団の裁判準備の闘いも佳境に入っています。

大坂控訴審では、供述分析の第一人者である浜田寿美男さんら4名の心理学者の協力を得て、供述調書の「ねつ造」を徹底的に暴く鑑定意見書を提出。さらに心理学実験の準備も進めており、檢察答弁書への反論や追加意見書を提出して闘います。星野国賠控訴審でも改めて、医師・学者による意見書を作成し提出します。

医師や学者の意見書、鑑定意見書等、裁判闘争には多額の費用がかかります。皆様の熱いカンパで支えてください。無実の大坂さん絶対奪還、星野国賠控訴審勝利へ心ひとつに闘おう！

沖縄を戦場にするな 星野文昭・暁子絵と詩展

杉並で星野大坂講演集会が大成功

星野・東京連絡会代表 星野暁子

6月6日から8日まで、セシオン杉並で星野文昭・暁子絵と詩展を開いた。セシオンでやるのは、今回が2回目だ。会場には、星野文昭の絵25点と私の詩のほか、近藤あき子さんから寄贈していただいた「星野文昭とジョージ・フロイド」の作品、文昭の弟修三の版画、沖縄平和サポートからお借りした琉球弧の島々のミサイル基地等の現状を撮った写真も、展示した。

7日の講演集会は51人が参加した。私は主催者挨拶で、「5月



30日『星野さんを取り戻そう！全国再審連絡会議』と『大坂正明さん救援会』が合流して、「無実の政治犯 星野さん大坂さん 全国救援会」が結成されました。闘いは新しいステージに入りました。この力で星野国賠訴訟に完全勝利し、必ず大坂正明さんを取り戻しましょう」とアピールした。

星野国賠の勝利は画期的

岩井信弁護士は勝訴した星野国賠を振り返って「今回の勝利は2つの意味で画期的だ。ひとつは、国家賠償請求訴訟で勝ったということ。ふたつは、医療過誤訴訟で勝訴したことだ。証拠保全をやり、東日本成人矯正医療センターと徳島刑務所の中に入って資料を見ることができたことが大きかった」と述べた。「裁判所は星野さんをどう見ていたか。判決は、渋谷暴動という言葉ではなく、渋谷闘争とい

う言葉を使った。被告国は証人尋問の際に傍聴席と証人を遮る遮蔽措置をとるようにと3回言うてきたが、認めなかった。国が外部医療を受けられるように働きかけたが記録がないと言ったことについて、当時の徳島刑務所長を信用できないと言った「裁判所は星野さんを『公安関係受刑者』（国提出の「護送計画案」）としてではなく、『一人の人間』として見ていた」と語り、「文昭さんは、医療センターと徳島刑務所によって、放置され殺された」と弾劾した。

大坂さんの無実が鮮明に

大坂弁護団の山本志都弁護士は、渋谷闘争がどういうデモだったか話された。大坂さんは、千葉から一人で参加。井の頭通りでパトカーを追いかけたため、中村巡査死亡現場には遅れて到着し、機動隊殴打には加わっていない。警察や新聞社が現場で撮影した写真に写っていないことが強調された。

一審判決が依拠したデモ参加学生の供述調書についても徹底的に論破された。ARさんは「大坂さんが白い服を着て先頭で突っ込んでいった」と証言した。こ

れが本当なら現場の写真に写っているはずだ。一審判決は写真という物証を無視した。

AOさんは、「記憶にないことを言って大坂さんに迷惑をかけたことを謝りたい。なぜ、嘘の供述をしたかと聞かれるが、取調室に入ってください、としか言えない」と真実を証言した。ITさんは「調書は検事の作文」と怒りを込めて弾劾した。大坂さんが無実であることが、講演の中で明らかになった。

星野・大坂一体で勝利へ

2つの裁判について、活発な

絵と詩展参加者の感想

絵と詩展には95人が参加し、とても盛り上がりました。参加者の感想を紹介します。

「沖縄の反戦・反基地などの写真がとてもわかりやすくてよかった。平和な島に、戦争はまず自国の軍隊が入りこんでくる。このあり方を変えましょう」

「星野さんご夫婦の愛に感動しました。いま日本が直面している問題を知ることができました。今後頑張っていたいだきたいと思います」

質疑が行われた。運動体と弁護団が一体で進んでいくために運動体に対して何を望むかなどの質問に対して、岩井弁護士は「内容を理解いただき、いっしょになって進み、傍聴に参加していただきたい」。山本弁護士は「署名など集めていただくことが必要だ。大坂さんが訴えているように、沖縄闘争を勝利させることも重要だ」と述べられた。

世界が戦争に向かう中で、新たに出發した星野・大坂全国救援会をさらに拡大しよう。星野国賠完全勝利と大坂さん絶対奪還を参加した皆が決意した。

「星野さんが日本の基地問題で争ってくれて、本当にありがたいと思います。星野さんの絵は、心がこもって優しく観る人の心に優しい心を取り戻してくれる。暁子さんの詩もすばらしく、沖縄、そして沖縄から出撃して攻撃されたアフガン、イラクなどの人々を、心から思いやっているものだと思います。私たちも、沖縄が米軍そして今後は自衛隊として出撃基地にされようとしているのを、なんとか阻止してかつての平和で美しい沖縄を甦らせたいと思います」

絵画展

大阪・高槻

沖縄、天皇、戦争で参加者と討論

吾郷春代



天皇来広阻止闘争を闘った熱気そのままに、勝利感に満ちた絵画展になりました

6月20～22日に高槻市の2会場で「星野文昭★暁子 絵画・詩展」を行いました。前日19日は広島で天皇来広阻止闘争を全力闘争で闘い、勝利感に満ちた絵画展になりました。

参加者からは「不当逮捕は許せない」「沖縄戦はひどかったなあ」「(1945年)2月に(近衛文麿が)『戦争を止めた方がよい』と言った時に、天皇が戦争

を止めていれば、沖縄戦も広島、長崎も無かったんや」「天皇は戦争責任を取っていない」「中国は日本に攻めてこない。自国の人間のことで精一杯だ」「戦争の事が話せて良かった」など発言がありました。

天皇の戦争責任や沖縄売り渡しを許さない、天皇の沖縄・広島訪問弾劾、中国侵略戦争を許さないという討論ができました。6・23は沖縄戦が終わった日だが、地獄の日々が強制され市民

東京・東部

沖縄と固く連帯する絵画展

小泉純子



沖縄闘争と固く連帯し星野・大坂無実・奪還を訴える絵画展を開催しました

6月21～23日、葛飾区新小岩

の4人に1人が殺された。米兵

の性暴力許さず、女性に対する差別・性暴力と闘おう。沖縄・琉球弧のミサイル基地化に反対などなど。参加者は87人。

米日帝の中国侵略戦争を、星

野さん・大坂さんを先頭に闘われた70年安保・沖縄決戦を継承・発展させた実力闘争で闘い、始まる前に止めましょう。この闘いと一体で大坂さんの控訴審に勝利し、無罪・奪還を何としても勝ち取りましょう。

地区センターで「星野文昭・暁子絵と詩展 無実の政治犯星野さん獄死から6年 国賠勝利！大坂正明さんは無実だ！ 反戦闘争への弾圧を許すな！」を開催しました。同時に辺野古基地、琉球弧ミサイル基地の現状を伝える写真パネル、丸木位里・俊さん作成「沖縄戦の図」をパネル作成して展示しました。

23日沖縄戦終結「慰霊の日」に重なったこともあり、沖縄出身者をはじめ100人近い来場者がありました。ビラを見て事前に星野さんと大坂さんのことを調べてから来場されたといううるま市出身の女性と話になり、沖縄戦から今日までの沖縄の現

状への憤り、「沖縄を再び戦場に

してはならない」との強い思いを共有できました。仕事の合間に立ち寄ったという恩納村出身の介護ヘルパーは、直ぐに大坂さん署名を書きました。

戦争情勢の中で、大坂さん、星野さんが闘った安保・沖縄闘争がこれまでにいく多くの人々に反戦闘争を訴える力となつていくと確信しました。星野国賠控訴審勝利・大坂さん控訴審無罪・奪還を全力で闘い抜く決意を固める絵画展となりました。

埼玉・加須

戦争絶対反対で青年と討論に

堀江淳一



星野さんの絵画をスクリーンに映しての詩の朗読は非常に感動的なものでした

6月21～22日に市民プラザかぞを会場として、11回目の絵画

展開催です。

今回は「星野さん・大坂さんは無実 沖縄を再び戦場にさせない」をテーマとし、星野さんの絵画のほか、埼玉星野ネットの皆川さん作成の沖縄の歴史や今年の5・15沖縄闘争のパネルを展示しました。中国侵略戦争情勢で琉球弧のミサイル基地化が進み、反戦・反基地の闘いが重要となつている事を、71年渋谷闘争の星野さん・大坂さんの闘いと併せて訴えるものとなりました。また映画「琉球弧を戦場にするな」の上映、5回目となる星野暁子さんの詩の朗読なども行いました。

2日間で109名の来場者がありました。沖縄のパネルに反応した10代の青年が複数いたことが印象的でした。最近沖縄に行ったという19歳の青年は、「戦争は絶対反対です」と討論になりました。沖縄が日本の捨て石となり、戦後は天皇によりアメリカに売り渡された歴史を説明したところ、知ることができてよかったとの感想でした。星野さん・大坂さんの闘いは、今の時代の青年にも訴えるものがあることを確信できた絵画展となりました。

インフォメーション

■札幌絵画展

7月10日(木) 午前10時～午後7時
11日(金) 午前9時～午後7時
12日(土) 午前9時～午後5時

札幌駅前地下広場(チ・カ・ホ) 憩いの空間

主催 北海道星野文昭さんを救う会

協賛 日本キリスト教団北海教区社会委員会

■九州絵画展

7月11日(金)、12日(土) 午前10時～午後5時
西南学院大学西南コミュニティセンター多目的室1, 2, 3
(地下鉄空港線西新駅3番出口徒歩5分)

★佐賀空港オスプレイ配備ゆるさない

講師 野中宏樹さん 鳥栖キリスト教会牧師
オスプレイ裁判支援市民の会・副代表

★高校生の反戦決起一修猷館闘争一

講師 山下勝泰さん
主催 星野さんを取り戻す会・九州

■反戦反核東京集会

7月12日(土) 午後6時
渋谷勤労福祉会館(JR・東京メトロ渋谷駅徒歩8分)

★デモ 午後7時30分

主催 改憲・戦争阻止! 大行進東京
共催 すべての原発いまずなくそう全国会議(NAZEN) 東京

■女性・青年・学生の行動で戦争とめよう!

7・19反戦集会 in 新宿
7月19日(土) 午後1時 新宿東口

★デモ出発 午後2時30分

呼びかけ 3・8国際婦人デー集会実行委員会

■広島暴処法裁判 第7回公判

7月23日(水) 午後2時
広島地方裁判所第304号法廷

■サイバー戦争法・刑事手続デジタル化学習会

7月24日(木) 午後6時30分
カメラプラザ6階第3研修室(JR亀戸駅徒歩2分)
主催 現代の治安維持法と闘う会

■平和公園集会禁止・反戦デモ弾圧許すな! 前夜総決起集会

8月5日(火) 午後6時30分
広島市東区民文化センターホール(JR広島駅南口徒歩9分)
主催 8・6ヒロシマ大行動実行委員会

■被爆80周年8・6ヒロシマ大行動

原爆ドーム前集会
8月6日(水) 午前6時30分

★石破の式典出席を許すな! 翼賛式典弾劾デモ

午前8時15分

★8・6ヒロシマ大集会 午後0時30分

広島県立総合体育館小アリーナ(原爆ドーム前駅徒歩6分)

★8・6ヒロシマ大行進 午後3時

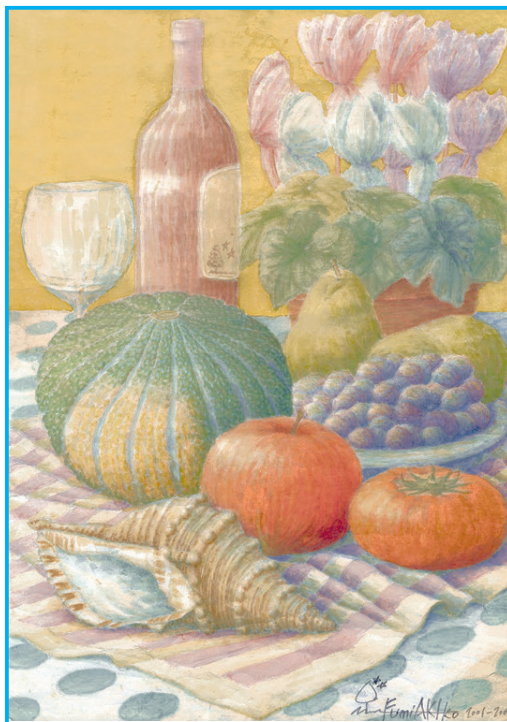
主催 8・6ヒロシマ大行動実行委員会

■被爆80周年8・9ナガサキ反戦反核行動

爆心地公園集会一石破打倒デモ
8月9日(土) 午前10時
集会後デモ
爆心地公園(長崎電気軌道本線平和公園駅徒歩1分)

★8・9ナガサキ反戦反核集会

午後1時30分
長崎総合福祉センターセミナールームA
(JR浦上駅徒歩3分)
主催 8・9ナガサキ反戦反核行動実行委員会



星野文昭

絵・星野文昭
この絵は、四国管区のコングールで、はじめて一位になった作品です。入選した作品が3年たつと本人の手に戻るとい話を聞いて、要求してようやく文昭から受け取ることができた作品です。

星野・大坂全国救援会の 会員になってください

全世界でむき出しの帝国主義が私たちの目の前に現れています。米トランプの自国第一主義が全世界を覆っています。G7各国が国益を競い合い、労働者人民を愛国主義、排外主義でからめとろうとしています。その先にある戦争では、労働者民衆が他国の労働者を殺すことを強制されるのです。今こそ星野文昭さん、大坂正明さんが闘った70年の安保・沖縄闘争のような闘いで帝国主義の侵略戦争を止めよう。

東京地裁は無実の大坂さんに対して戦争反対の実力闘争を許さないとでっち上げの20年判決を下しました。裁判所が戦争に向かう国家の意志を体現したのです。許せません。

安保・沖縄闘争の爆発で国家権力を打倒する、怒りの控訴審闘争を闘い、大坂さんを絶対に奪還しよう。徳島刑務所を徹底追及し、星野国賠控訴審に勝利しよう。

星野・大坂全国救援会の会員になってください。年会費は3,000円です。会費は郵送か振替口座でご入金ください(統合前の救援会に2025年度会費を納めて頂いた方は、新しい救援会の会費として扱います)。

会員になっていただいた方には「星野・大坂救援ニュース」をお送りします。

振替口座：00110-5-155521

口座名：星野さんを取り戻そう! 全国再審連絡会議
〒105-0004 東京都港区新橋2-8-16 石田ビル4階
TEL 03-3591-8224 FAX 03-3591-8226
Email: hoshinoosaka@ymail.ne.jp